

総務・産業
委員会合同
町の施設調査
報告

議会改選後、常任委員会としてはじめての活動である町内公共施設調査を6月8日に実施。調査、分析、改善措置などについて議論を行いました。項目別に報告します。

ライディングパーク

本年度、パークゴルフ場のシヨートホールの改修整備が予定され、広く町民に利用される事が見込まれる。

めぐまれた環境を更に有効に利用するため近隣町村、道内外に向けて情報を発信することが重要課題である。



旧西原研究所

○研究施設
老朽化が懸念されることから、民間会社の福利厚生施設等の利用方法を検討していく必要がある。

この施設周辺の環境整備と備品の管理・処分については充分検討する必要がある。



一般廃棄物最終処分場



住民のゴミに対する理解と協力により、目標値より10%減量で推移している。平成30年までに処分場が満量となる予想がされ、平成25年までに次の計画の策定が予定される。

今後事業の広域化、埋立地の新たな建設、焼却施設の建設等の幅広い見地から充分な調査研究が必要である。

共同調理場

町内全小中学校及び幼稚園等に7百食程度の大規模調理を実施。地場農畜産物の利用価値を高める機能を持ち合わせ、衛生管理、施設運営ともに特に問題がなく良好である。

また、今後予定されるへき地保育所への給食にかかわり、各学校・幼稚園における食育教育については、今後調査研究する課題の一つとして残る。



町営牧場

- ・パドック改修予定地、バンガーサイロ建設予定地の防疫上の配慮から車中より視察。
- ・今後新たな牧場用地を求めるとして周辺の候補地を視察。



○旧西原研究所用地等
瓜幕バイオガスプラントの建設予定地であるが環境的には良いが受益農家との距離があるため検討が必要である。

研修棟・宿泊棟の有効利用が必要である。

ふれあい農芸公園

- ・芝生の造成も終わり花の苗の移植、花壇の整備が行われていた。
- ・町民植樹祭が行われ、多くの町民が参加されました。このような町民が参加



しての公園整備は、自分たちの公園という意識付けをさせるためにも有効と思われる。



もみじ工房

- ・障害年金と工房での収入で自立を目指している。
- ・花の苗の生産、サツマイモの栽培などを通して社会との交流を行っている。
- ・将来工房の利用者が増加の傾向にある。
- ・ケアホーム、グループホーム設置が必要である。



つぶやき

■F(フード)E(エネルギー)C(ケア)、この3文字がこれからの地方政治のキーワード。鹿追町は先んじて取り組んでいます。